

8 福祉・子育て

	タイトル	意見等
1	県営駐車場の障がい者割引システムの大幅な改善と合理的配慮の義務化対応について	障がい者手帳を所持している徳島県民です。移動や歩行が困難なため、県が運営・管轄する「藍場町地下駐車場」や「松茂駐車場（とくとくターミナル）」の障がい者用スペースや減額制度は、私にとって社会参加のための命綱です。しかし、現在の県の減額手続きシステムは、当事者の実態を完全に無視した、極めて冷酷で矛盾したものになっています。藍場町地下駐車場で減額を受けるために、歩行困難な障がい者本人に対して『わざわざ車を降りて、地下の管理事務所まで歩いて手続きに來い、書類に手書きで記入しろ』という運用は、移動が不可能な人間を最初から切り捨てているのと同じです。自分で行けるわけがありません。さらに松茂駐車場に至っては、『1ヶ月以内に藍場町の事務所まで領収書と手帳を持参して返金手続きをしろ』という、当事者への過酷な負担を強いています。2024年4月から、行政機関には「障がい者差別解消法」に基づく『合理的配慮の提供』が完全義務化されました。障がい者に対し、歩行を強要する現行のシステムは、この法律の主旨に明白に違反していると考えます。他の先進的な自治体のように、精算機にインターホンと手帳確認用のカメラを設置して遠隔で減額する、あるいは事前登録による自動ナンバー認識・ETC減額システムを導入するなど、車内から一歩も降りずに手続きが完了するデジタルシステムへ直ちに改修してください。行政の都合だけで作られたシステムを知事のリーダーシップで即刻見直していただきたいです
2	奨学金返済支援制度について	奨学金返済支援制度の対象者を既卒で徳島県ですと働いてる人でも応募は出来るようにして欲しい。 対象者が既卒の場合徳島県ですという人が支援を受けられないのは良くない。 既卒でこれからも徳島県で働いていこうとして、制度をみてこれはありがたいと思って調べると既卒は応募する土俵にもない。 外からの人材を受け入れるための制度というのは重々承知だが、他の県も県外からくる人は支援しているためそれなら支援を受けるために県外に行こうと人材の流出がおきる。実際に今頑張っている層が損をする、これは今問題になっている新卒の初任給による現社員との給与逆転現象に似ている。もちろん対象者を増やすことは手間や予算の問題があると思うが、それでもこういう中途半端な層に支援が行き届けばいいと思う。